

# 常照

第831号

## 「へそ曲がりの一人ごと」

私たちが暮らしているこの社会の中には「〇〇をすべき」とか「〇〇はこうしていいといけない」という固定観念が多くあります。そして日本にはそれにどらわれている人が多くあります。「これからは英語を話せないと生き残れない」などと英語の勉強に駆り立てられる人、瘦せている人のくびれ写

真を見せられ、ダイエットにはげむ人、他人に好かれようと思つて周りに気をつかう人、私のように生粋の怠け者であれば「そんなこと気にしないでいいよね」で済ませられるのですが、マジメな人ほど、そういつた「しなければならない」ことにどらわれがちです。結果、不安にかられたり、うつ状態になつたりして、体調を崩してしまうこともしばしばです。もしあなたが「すごいお金持ちになりたい」とか「歴史に名を残したい」といった野望を抱いているのでなければ、「しなければならない」ことはさほど多くありません。たとえば

友人や知り合いを増やすこと。「友だち百人できるかな」という歌詞もありますし、知り合いが多いとたしかに便利なことはあります。でも、その人たちがいざというときに自分を助けてくれるかどうかは別の話です。そうすると、無駄にコミュニティを広げず、無理に人と関わらない、という生き方も見えてきます。また、仕事においても、「しなくてもいいこと」が案外あるのです。たとえば、あなたがマジメに定刻の10分前に出社している一方、しつと10分、20分遅れてくる先輩・後輩が、なんのお咎（とが）めもなし、なん

てことがあつたとします。そういうった職場環境であれば、何も定刻10分前に到着せず、二度寝を少ししてから家を出たり、出社前にカフェでコーヒーを飲んだりしてから、同じように遅れていなければいいのです。どんな時でもマジメなのが最良なわけではないし、頑張らなくても良いタイミングだつてある訳ですね。

それに、積極的に「しない方が良い」こともたくさんあります。たとえば投資です。年金制度の根本的な問題を隠すために最近政府も国民に投資を奨励しています。でも平均年収前後の

人が投資に時間や労力をかけたところで一年に数万円の利益を出すのがやつとでしょう。そんな額なら日雇い労働を数回入れて稼げば、済む話です。投資に無駄な時間・労力をかける必要は多くの人にとつてありません。そんな時間があるのならば、趣味の映画やゲーム、家族と一緒にいることに費やしたほうが有意義です。マジメに生きてつらい人や、頑張りすぎて疲れた人は無理しない生き方を考えてみませんか。

### 「和をもつて貴しとす」

親鸞聖人は、ご和讃などで七

高僧の功績を讃えられていますが、もうお一方、日本で初めて仏教を広められた聖徳太子も尊敬され、「和國の教主」「日本のお釈迦様」と讃えられています。お互いに対立や争いが絶えない中で互いに調和し、穏やかに暮らしていける社会を目指された言葉です。そして、第二条に「篤（あつ）く三宝を敬え」と言われ、そうした社会を実現するためには、仏・法・僧の三宝を大切にすべきと示されています。私ども他人とは対立して存在しているのではなく、お互いの関係の中で交流しあって生きている。このことに気づかされ、同じ道を

歩んでいくことが本当の「和」でありましょ。だからこそ、自分の思いを優先し対立し争いあう身勝手な私たちに、分け隔てのない心をもつた仏さまのみ教えをお勧めになつたのです。



四月の常例布教(ご法話)のご案内

- |      |                       |
|------|-----------------------|
| ○前 期 | 四月七日(金)～十一日(火)        |
| ○後 期 | 四月十三日(木)～十六日(日)       |
| ○場 所 | 小樽別院内                 |
| ○時 間 | 午後二時(法要終了後)～<br>午後三時半 |
| ○講 師 | 未 定                   |

浄土真宗のみ教えについて布教使による法話を  
して頂きます。どうぞお誘い合わせいただき、  
ご聴聞に来院ください。席の間隔を保ち、換気  
実施の上、お待ちしております。

発行所

047-0017

小樽市若松一丁目四番十七号

電話 (〇一三四)  
FAX  
テレホン法話